

国 語

指示があるまで、このページをよく読んで待ちなさい。指示があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。

I 受験に際しての注意

- 1 問題用紙は一ページ（表紙を除く）から十一ページまでである。
- 2 問題の内容についての質問には、いつさい応じない。それ以外のことがらについて尋ねたことがあれば、手をあげて監督者に聞くこと。
- 3 監督者の「はじめ」の合図で始め、「やめ」の合図ですぐやめること。
- 4 解答用紙が折れ曲がったり、破れたり、汚れたりした場合には、手をあげて監督者に申し出ること。

II 解答記入上の注意

- 1 すべてマーク方式で解答を記入すること。
- 2 マークは必ずHBの黒鉛筆を使用して記入すること。ボールペン、万年筆、サインペン等を用いてはいけない。
- 3 答えは、すべて各問題の指示にしたがって解答欄にマークすること。
- 4 一度マークしたものを訂正するときは、プラスチック消しゴムで完全に消してからマークしなおすこと。消して出たカスはきれいに払っておくこと。
- 5 次の場合は、いずれも誤答となるから特に注意すること。
 - (1) マークの仕方が悪かった場合。（特にマーク欄が塗りつぶされていなかったり、外側に少しでもはみ出した場合）
 - (2) 問題が要求している以上に余分な答えをマークした場合。
 - (3) マークすべきところ以外に印をつけたり、汚したりした場合。特に枠内は絶対に汚さないこと。
 - (4) 訂正の場合の消し方が不十分な場合。

III 氏名等の記入上の注意

- 1 問題用紙と解答用紙の両方の所定欄に、漢字で氏名を、算用数字で受験番号をそれぞれ記入すること。
- 2 解答用紙の左側にある受験番号をマークすること。

氏 名

受験番号

一 次の各問いに答えなさい。

問一 漢字の誤りのある文をA・Bより一つずつ選び、番号をマークしなさい。

① くしなさい。

A ① 具対性に欠ける提案は受け入れられにくい。

② 目上の人を敬うことは大切だ。

③ 根拠のない自信は危険だ。

④ 渡り廊下を通る。

B ① 掲示板を確認する。

② 電話の架設を申し込む。

③ 街頭でのアンケートに応じる。

④ 想定外の事態に混惑する。

問二 「人によって価値カンの違いがある。」の傍線部「カン」に

当てはまる漢字を次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 観 ② 感 ③ 間 ④ 肝

問三 慣用句A・Bの□に当てはまる漢字をそれぞれ一つずつ

選び、番号をマークしなさい。

A □ をむけて寝られない

- ① 頭 ② 足 ③ 手 ④ 顔

B □ 写真を描く

- ① 赤 ② 黄 ③ 青 ④ 白

問四 傍線部の漢字の読みとして正しいものを一つ選び、番号を

マークしなさい。

「神社の境内」

① けいない ② きょうない

③ きょうだい ④ けいだい

問五 仮名遣いが間違っているものをA・Bより一つずつ選び、

番号をマークしなさい。

A 1 はなじ (鼻血) 2 みかづき (三日月)

3 おうさま (王様) 4 じしん (地震)

B 1 ちぢむ (縮む) 2 そこちから (底力)

3 こずつみ (小包) 4 まちか (間近)

問六 A・Bそれぞれの□に共通する漢字を次より選び、番号

をマークしなさい。(同じ番号は使用しないこと)

A 処 □ ・ 奇 □ ・ 遭 □

B □ 致 ・ 勸 □ ・ □ 惑

- ① 誘 ② 風 ③ 遇 ④ 理 ⑤ 告

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

与謝野晶子の影響をひとことと言えば、女性の持つ本質的なパワーを解放してみせ、そのことによって、あとに続く人たちに「自由に感情や意見を表現していいのだ」という勇気を与えたことにあります。しかも、その影響はたんに女性に対してだけではなく、男性も含めた日本社会全体に及ぼされ、女性的なる原理を教育したという側面を指摘しないわけにいきません。

その与謝野晶子を世に知らしめることになったのは、何といっても晶子の第一歌集『みだれ髪』(鳳晶子名)の影響によるでしょう。これは当時の大ベストセラーになり、与えたインパクトも中途半端なものではありませんでした。当時、『みだれ髪』を知らない人はいないのであるかと思えるほど大変なものだったのです。

A、そのインパクトの中身を吟味してみると、たんに短歌が上手だとか面白いといったレベルではなく、「こんな官能的で自由奔放なものを世に出していいのか」という、不安を含んだ衝撃を人々に与えた点にあります。

B 晶子は、人々が奥底に抱えている情念を思いっきり表現してみせました。晶子はみんなの脅える心や硬い殻といったものをすべて取り去り、前に押し出す勇気を与えてくれた。晶子はたった一人でハンマーをふり上げ、殻を打ち破り、「前に進んでいいんだよ」と身をもって示してくれたのです。そのおかげで、あとに続く人はずいぶん楽になったはずです。

よくスポーツの世界でも、十年ぐらい世界記録が破られない時代が続いたあと、いったん誰かがそれを破ると、その直後に当たり前のように、かつての世界記録が次々に塗り替えられていくことがあります。C 体操競技を例にとると、いまでは月面宙返りは高校生

でも試みますが、それをミュンヘン・オリンピックの金メダリスト塚原光男が最初に編み出したときは超人のように思えました。③ 最初の壁を破ることが一番の問題です。誰かがそれを突破すれば、やはり厳しい訓練が要求されるというものの、あとに続く人は楽でしょう。その壁は技術的なこともあります。心理的な要素が大きかったといえます。

「そんなことはできるはずがない」と思う心理がネックになります。そうした気分が先に立ち、どうしてもそこが一つの頂点のように思えるので、その近くに來ると立ち止まってしまいます。「人がそんなことをできるわけがない」といった恐れのお気持ちや怯むお気持ちが実

力の自然な発露を阻み、潜在力のままに終わらせてしまうのです。

与謝野晶子は、感情という潜在力を一気に放出しました。^④ダムの水のように溜まっていながら表に出ない感情を、いきなり全開してしまつた。その激流は、多くの人々をも呑み込んでしまつたということだと思ひます。

晶子の短歌は情熱的であり、ロマンチズムにあふれています。その有名な作品を見ると、たとえば二十歳の自分は長い髪が美しいといつたように、自分の若さや美しさを驕^{わご}っている点が特徴です。「その子二十^{はたち} 櫛にながるる黒髪の^⑥ おごりの春の^⑦ うつくしきかな」という歌ですが、その驕りを自分で表明すること自体、普通の日本人の感性からは大きくズレています。

江戸時代に儒教道徳が世に広まつてから、とりわけ日本人は謙虚であることを善しとし、あまり派手な恋愛表現は慎むことになつていました。とくに女性は、自分の力を率直に認める自己肯定力を全面に押し出したたり、そのパワーに酔い痴れるといつたようなことは、ほとんど許されていませんでした。

一方、男性の場合は、自分の力に酔つても許される部分があつたと思ひます。たとえば幕末の志士や明治の人たちには、自分は天下国家のために働いているのだという意識がありました。それ以前の武士たちも、自分は武士道に生きていくという一種のロマンチズムに酔いながら、自己表現をしていたように思ひます。^⑧

ところが女性の場合、自分の力や能力、あるいは社会的な表現力に酔い痴れて、それを自己肯定し、他者に向けて堂々と歌い上げるなどということは、ほとんど禁じられていたことでした。晶子はその壁を突破し、女性が自己表現する道を切り拓いたのでした。

(齋藤 孝「代表的日本人」)

問一 ^① インパクトとあるがどのようなインパクトを与えたのか、最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 不安や苦しみを乗り越え、人々に勇気や希望を与えるようなもの。
- ② 女性ならではの謙虚さや優しさを世の中の女性に訴えるようなもの。
- ③ こんな内容のものを発表しているのかというような不安を含んでいるようなもの。
- ④ 当時の短歌界には女性歌人がいなかったため、新鮮さや響きを与えるようなもの。

問二

A	・	B	・	C
---	---	---	---	---

 にあてはまる語を次より選び、番号をマークしなさい。

- ① たとえば
- ② さらに
- ③ つまり
- ④ だから
- ⑤ しかし

問三 ^② ハンマーをふり上げのハンマーとは何を表現しているか、最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 人々が抱えている恐怖
- ② 抑圧に負けない勇気
- ③ 時代に合った意志
- ④ 男性に対する抵抗

問四 ^③ 最初の壁とは与謝野晶子にとってはどういうことか、最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 男性に負けない強い気持ちをもっていること。
- ② 女性が短歌を作り本にまとめたこと。
- ③ 人間の心の奥底にある気持ちを短歌で表現したこと。
- ④ 時代に合った新しい技法を短歌に取り入れたこと。

問五 ^④ 潜在力を一気に放出しましたとあるが、放出したものは何か、最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 自分自身の中にある情熱的、浪漫的なもの。
- ② 男性や社会に対して反抗するようなもの。
- ③ 社会の中に見られる不安的な要素のようなもの。
- ④ 世の中の醜い点や問題点のようなもの。

問六 ^⑤ タムの水のようにの表現技法を次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 倒置法
- ② 擬人法
- ③ 隠喩
- ④ 直喩

問七 ^⑥ その子とはだれのことか、最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 作者自身のこと
- ② 作者の子どものこと
- ③ 目の前にいる子どものこと
- ④ 作者の友人のこと

問八 ^⑦ おごりの春の、うつくしきかなは何を表現しているか、最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 季節の素晴らしさ
- ② 人の心の美しさ
- ③ 楽しかった過去
- ④ 青春の素晴らしさ

問九 ^⑧ 自己表現の説明として最も適切なものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 自分の能力を他者に認めてもらうこと。
- ② 自分の力を素直に認めて前面に出すこと。
- ③ 自分の存在を他の人に紹介すること。
- ④ 自分の実力を試すこと。

問十 文章の内容と合っているものを次より選び、番号をマークしなさい。

- ① 日本人は謙虚さを大切にしており、晶子自身も生涯謙虚に生きた。
- ② 晶子は自己を堂々と歌い上げ、自己表現する道を切り拓いた。
- ③ 『みだれ髪』は大ベストセラーとなり、女性のみに強い影響を与えた。
- ④ 晶子の積極的な生き方は現代社会においても模範とするべきである。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「玉を磨く」ということがある。この玉はやはり結果目的だから、磨いて玉にする意味である。「玉磨かざれば光なし」も同様である。石を磨いて、玉にする、光らせるのだ。しかし、一般には、どうもすでに玉になっているものを磨くように感じているらしく思われる。結果目的というのは案外、微妙なものであることがわかる。

「玉を磨く」には宝石などの研磨だけを言うのではなく、むしろ人間を育てる比喩としての意味が第一義である。昔の人は人間を育てるのは原石を磨いて玉に仕上げるようなものだと考えたのであろう。いまの人間にはすこしわかりがわるい比喩かもしれない。

I、真綿のような柔らかいもので磨けるわけがない。石より固いものでとき磨く。砥石などでなんどもなんどもこすって磨き上げるところが、人間の育成につながるのである。

よく、しつけと言う。子どもをしつけなくてはいけないとも言ふ。これは、縫ったあとの着物の形がくずれないように糸でとめるのがもとの意味である。それを、よい習慣づけという喩えにしたのが、しつけである。やはり、子女の育成についてのことはであるが、磨くに比べると、柔らかで、女性的な感じがする。もともと、縫いものなどしなくなりたいまでは、しつけは古めかしく、窮屈なイメージをとらなっていたりもしたかたがない。

しつけはしつけ糸です。やさしくあたたか味がある。それに対して、錬磨には、硬質のきびしさの含意がある。しつけは家庭でできるが、人間の鍛錬、錬磨は甘い親では無理である。布やスポンジのようなものでいくらかこすってみても玉を磨くことにならない。大事に育てられた子は、きれいなカバーでつまれた原石のようなもので、すこしも磨かれていないが、見た目はいかにもきれいだ。

玉でないことは、いざればれる。幸せな育ち方をした人が、多く人間的弱さをもっているのは偶然ではない。

玉を磨く、つまり、磨いてりっぱな人間にするには外つよい力が必要である。親のきびしさなどはタカが知れている。他人がしつけるとなると、話がちがう。痛いことをさせる。苦しいことも遠慮しない。弱音をはいたりしないで、歯を食いしばってで

II、

も、することはしなくてはならない。そういうしつけは他人だからできる。

古くから、子どもの養育に、乳母うはとか乳人※めのとといった他人をわずらわせたのは、しつけだけでなく、痛みをとまなう、磨きがかけれやすいという思惑があったはずである。経済力のある家庭で、育て親を子につけたのはやはり経験の知恵であった。

外で苦勞をさせよということだ。

貧しくては、乳母、乳人をかかえることなど思いもよらぬことだが、天の恵みは大きい。貧乏神が育ての親になってくれる。これはどんなにきびしい養育者よりもっと冷血、非情でありうる。甘ったれた気持ちなど、早々と打ちのめされる。生意氣、我ままは、貧乏神によって削りおとされ、磨かれて円まるくなる。

貧乏でなくても、不幸であれば、充分きびしくきたえられる。そういう境遇で育てば、苦しいことに平気で耐え、がまんをすることを覚える。苦勞が人間を磨くのである。不幸とはちがうけれども、氣候のきびしいところの人はおおむね忍耐づよく、勤勉である。自然にきたえられるのだ。

〔外山滋比古「朝採りの思考」——ことわざ考——〕

※乳人：乳母と同じ

問一 空欄 I・II に入れるのに最も適切な語を次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① だから
- ② もちろん
- ③ あるいは
- ④ しかし

問二 ① 布やスポンジのようなものでいくらかこすってみても玉を磨くことにならないとあるがその理由の説明として最も適切なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 苦しいことに耐え我慢することを覚えて初めて人間としての角が取れるから。
- ② 玉を磨くには石より固いものでなければ無理なので、柔らかい布などでは決して磨かれる事はないから。
- ③ 磨くという事は削り取る事であり、スポンジなどでは汚れをこすり取ることしかできないから。
- ④ 人間を育成するという事は、他人への思いやりの心を育てる事であるから。

問三 ② 人間的弱さに該当すると考えられるものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 忍耐強さ
- ② 勤勉であること
- ③ わがまま
- ④ おもいやり

問四 ③ 外のつよい力とはどのようなことをいうのか。最も適切なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 他人から痛い事や苦しい事をさせられること。
- ② 他人に対して面倒をかけ、世話を妬かせること。
- ③ 兄弟から厳しく冷たい態度をとられること。
- ④ 親から無理難題を押しつけられ、解決すること。

問五

A にはあることわざが入る。最も適切なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 老いては子に従え
- ② 生みの親より育ての親
- ③ かわいい子には旅をさせよ
- ④ 親の心子知らず

問六

④ 天の恵みとして最も適切なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 財産
- ② 両親
- ③ 教師
- ④ 貧乏

問七

⑤ 貧乏神が育ての親になってくれるとはどういうことか。最も適切なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 誰よりも非情で厳しい環境を示す事によって、人間を育成してくれる。
- ② 貧乏神が付くことにより、神の領域を体験する事で成長させてくれる。
- ③ 子どもに対して、冷血、非情でぶつかることによって真の親になれる。
- ④ 人間の力を超越した神であるからこそ人間にはできない教育をしてくれる。

問八

筆者は人間が玉になるために必要な事は何であると考えているか、最も適切なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 不幸や苦勞を体験すること。
- ② 充実感を味わいながら生きること。
- ③ 周囲の助けによって自身を奮起すること。
- ④ 他人の不幸を喜ぶこと。

四 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

これも今は昔、田舎の児の比叡の山へ登りたりけるが、桜のめでたく咲きたりけるに、風のはげしく吹きけるを見て、この児さめざめと泣きけるを見て、僧のやはら寄りて、「などかうは泣かせ給ふぞ。この花の散るを惜しう覚えさせ給ふか。桜ははかなきものにて、かく程なくうつろひ候なり。されども、さのみぞ候」と慰めければ、「桜の散らんは、あながちにいかがせん、苦しからず。我が父の作りたる麦の花の散りて、実の入らざらん思ふが侘しき」といひて、さくりあげて、よよと泣きければ、うたてしやな。

〔宇治拾遺物語〕

※などかうは泣かせ給ふぞ〓なぜそんなにお泣きになるのですか

※苦しからず〓いっこうに構いません

※うたてしやな〓がっかりさせられることだ

問一 「今は昔」の現代語訳として最も適切なものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 今も昔も変わらない事実であるが
- ② 今ではもう昔のことなど忘れかけているのだが
- ③ 今となっては昔のことであるが
- ④ 今になって話してもしかたのないことであるが

問二 「見て」「見て」の「見る」の主語を次からそれぞれ一つずつ選び、番号をマークしなさい。(同じ番号は使用しないこと)

- ① 作者
- ② 僧
- ③ 児
- ④ 父

問三 「給ふ」の敬語の種類として正しいものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 謙讓語
- ② 尊敬語
- ③ 丁寧語

問四 「うたてしやな」と作者が思った理由の説明として最も適切なものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 児が、僧から話を聞かされた後もずっと桜のことを心配していたから。
- ② 児が、山の桜が散るのは構わないが、自分の家の桜が散るのは耐えられないと考えていたから。
- ③ 児が、激しく風が吹くのを見て、自分の父親の体調ばかりを気にしていたから。
- ④ 児が、桜が散ることではなく父親の作っている麦のことを心配していたから。

問五 「宇治拾遺物語」とジャンルの同じものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 十訓抄
- ② 竹取物語
- ③ 源氏物語
- ④ 枕草子